

八幡まちづくり計画書

持続可能な八幡にするために

～人口減少にストップ!～



八幡まちづくり計画書（目次）

	ページ番号
1.計画の目的	1
2.計画の期間	2
3.八幡地区の状況	2
①地域の概要	2
②八幡地区の人口・世帯数の推移	3
③八幡地区の行事・活動	4
④八幡地区の資源	4
4.住民アンケートの結果	5～
5.八幡地区の現状と課題	24
6.八幡地区のビジョン	24
7.八幡まちづくり協議会組織図	25
8.事業計画	26～
9.おわりに	35
（参考）八幡まちづくり協議会設立のあゆみ	36
八幡まちづくり協議会規約	37～

【はじめに】

八幡まちづくり協議会は、地域の課題の大小に関わらず地域住民みんなで考え、行動し、解決し、老若男女全ての人にとって安全安心な住みやすい地域づくりを目指します。

八幡地区の現状は、少子高齢化による人口の減少、それに伴う漁業・農業の後継者不足、各団体の小規模化による活力の低下が一番の課題です。少子高齢化に関しましては壱岐市だけに限らず全国的な問題ですが、八幡地区におきましても、時代と環境に応じた新しい対策を講じることが必要不可欠だと考えます。そこで昨年、八幡地区全住民を対象にアンケートを実施しました。色々な意見や新しい気づきもありました。この結果をもとにまずはできるところから計画し、実施していきたいと思えます。安全安心で住みよいまちづくりの実現のため、役員をはじめ、地域皆様方のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

令和2年7月

八幡まちづくり協議会
会長 後藤 裕昌



1. 計画の目的

八幡地区は、令和2年5月31日現在 391世帯、884の方が住んでいます。

(住民基本台帳に基づく人口) 高齢化率(65歳以上)は40.8%を超え、今後も上昇するものと予想されています。

近年、生活スタイルや価値観の多様化など、社会状況は大きく変化しており、地域で抱える課題も以前に比べて多様化しています。

「私たちの暮らしている地域をより安全で、住みやすい、魅力あふれる地域にしたい。」これは、私たち壱岐市に暮らす住民の願いと共通の課題であり、自治公民館をはじめ老人会・婦人会・青年会・消防団・学校・PTAなど様々な団体が自分たちの地域をよりよくするために活動しています。

今後もさらに少子高齢化が進むと予測される中で、八幡地区の活動の充実を図るために、地域住民が自ら考え、行動し、将来に渡って自分たちの地域は自分たちで守り繋いでいくことが重要であるとの考えを基に、八幡まちづくり計画書を策定します。

本計画は、今後、八幡まちづくり協議会がどのような地域づくりを進めていくかについて、住民の意見を反映しながらさまざまな視点で見つめ直し、具体的な地域づくりについて事業計画に盛り込み、八幡地区の更なる発展と八幡地区住民一人ひとりが誇りを持って、安心して幸せに暮らすことができる市民主体のまちづくりの実現をめざし策定するものです。

2. 計画の期間

まちづくり計画の期間は5年としますが、まちづくり計画書における事業内容については、順次見直し改定を行うことで持続可能なまちづくりを推進していくこととします。

3. 八幡地区の状況

① 地域の概要

八幡地区は壱岐市東部に位置する半島で、周りを海で囲まれた自然豊かな地域です。観光地として有名な「左京鼻」や「はらほげ地蔵」も八幡半島に位置し、毎年多くの観光客が足を運んでいます。



左京鼻



はらほげ地蔵

産業では第一次産業が盛んで、八幡地区は、在部（主に米、イチゴ、アスパラなどの農業・畜産）と浦部（主にブリ、イカ、鯖、ウニ、サザエ、牡蛎などの漁業）が盛んな地域です。

地域行事も数多く、地域住民同士が助け合い、明るく温かな土地柄で地域の子どもたちものびのびと成長しています。



壱岐牛



アスパラガス



鯖



うに



イカ



イチゴ

② 八幡地区の人口・世帯数の推移（各年度末時点）※壱岐市統計データより抜粋

	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3
世帯数	392	396	395	395	396
男	471	474	458	448	443
女	501	496	479	469	457
人口合計	972	970	937	917	900

直近の5年間では、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからず、H29年3月を境に人口が減少し始めています。八幡地区におきましても核家族化が進み、独居老人世帯も増えています。まちづくりを進めていく上で、今後ますます地域内でのつながりが重要になってきます。



なんもかんも うまかけん！

なんもかんもよかよ！ ほなこてよかけん！

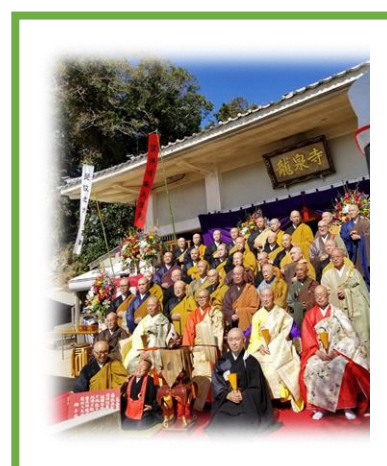
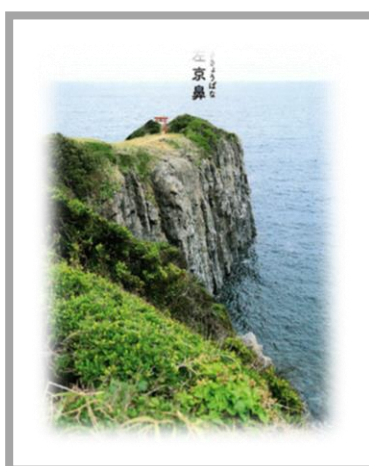
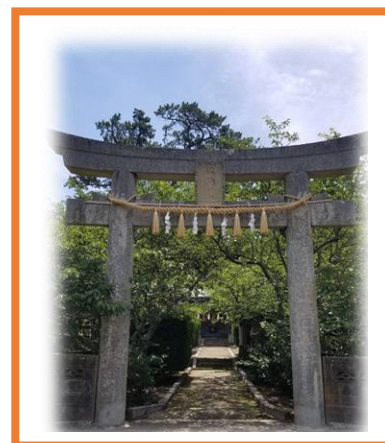
③ 八幡地区の行事・活動

- ・ 神事・・・歳旦祭・祇園祭・夏越祭・例大祭・神迎祭 恵比寿祭 他
- ・ 仏事・・・節参り・初祈祷（お経さん）・花まつり・十夜 他
- ・ 地域・・・船祝い・百手・節句磯・のぼり祝い・七夕・八朔節句・カズラ曳・子ども相撲 他
- ・ PTA・・・八幡小学校クリーン作戦・上じら清掃



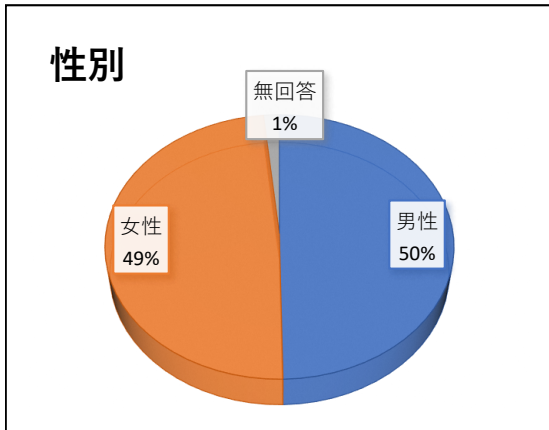
④ 八幡地区の資源 ※住民アンケートより抜粋

- ・ 左京鼻、はらほげ地蔵、長者原などの景勝地、観光スポット
- ・ 海、朝日、波光、星空などの自然
- ・ 昔ながらの漁で潜る明るく元気な海女さん
- ・ 新鮮な魚介類・野菜・果物、郷土料理
- ・ 5月期間限定のムラサキウニ
- ・ 親切で、明るく団結力がある住民の皆さん
- ・ 素直で元気な挨拶ができる子供たち
- ・ 自治団体の活動

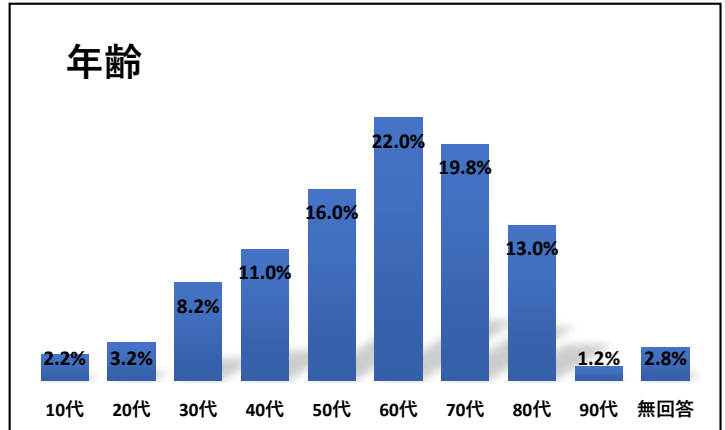


住民アンケート結果【高校生～一般】

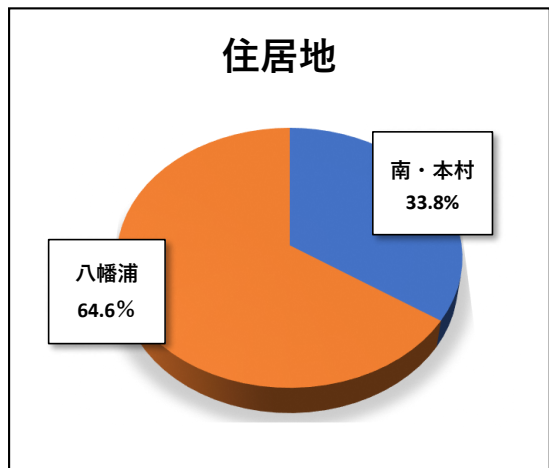
①性別



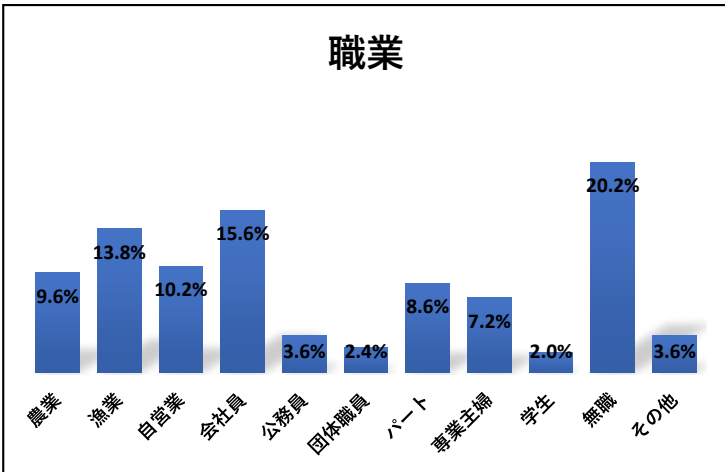
②年齢



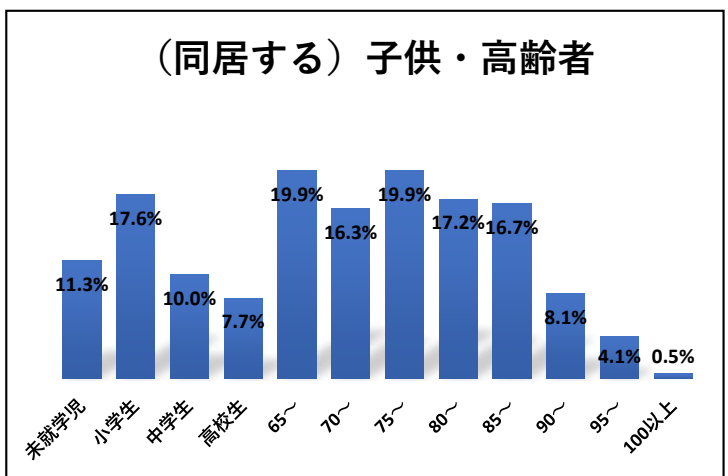
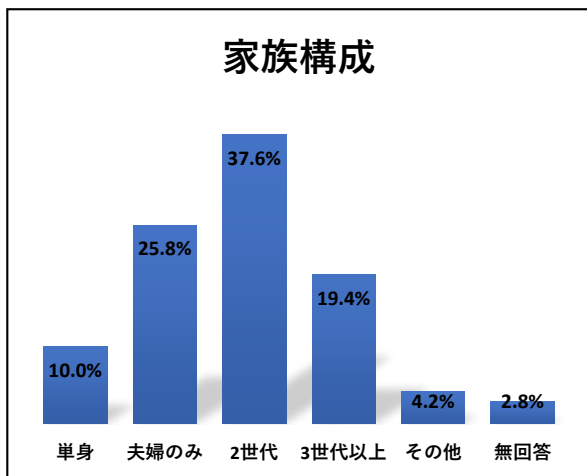
③住居地



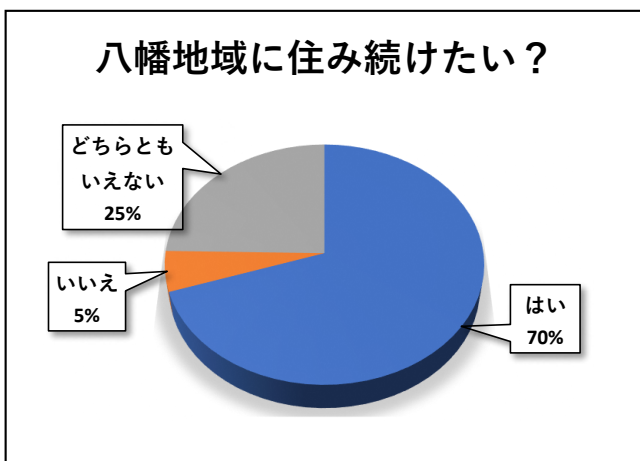
④職業



⑤家族構成



⑥これからも八幡地域に住み続けたいですか？

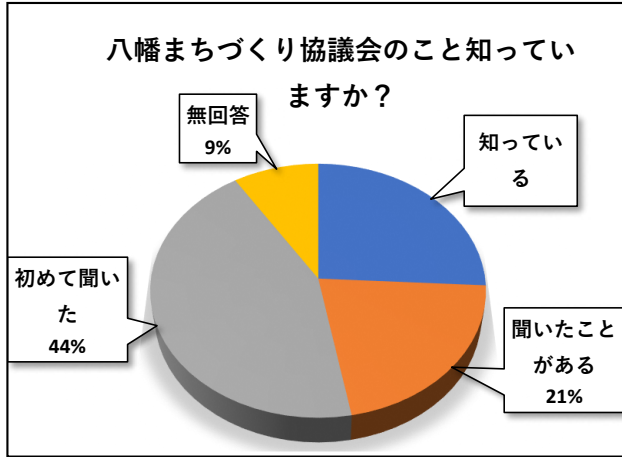


アンケート問6.これからも八幡地域に住み続けたいと思いますか。

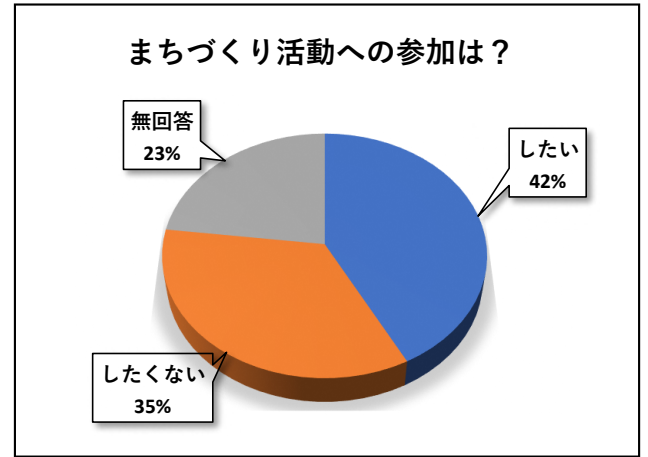
	選択の理由
住み続けたい	田畑を荒らさない為 (50代・男性)
住み続けたい	環境もよく地域のみなさんも親切で生活しやすい (80代・男性)
住み続けたい	壱岐 (八幡) は住みやすいところだと思う。 (50代・女性)
住み続けたい	本家だから (先祖様があるから) (60代・男性)
住み続けたい	住み慣れた所、家を守っていかないといけない
住み続けたい	生まれ育った町が暮らしやすい (50代・女性)
住み続けたい	ここが好きだから (50代・女性)
住み続けたい	夫が長男 (40代・女性)
住み続けたい	跡継ぎだから
住み続けたい	素晴らしいまちだから、人も人情味あって優しい (70代・男性)
住み続けたい	好きだから (50代・男性)
住み続けたい	海女漁をつづけたい、子供や孫と一緒にいたい (60代・女性)
住み続けたい	海女を続けたい、八幡の人が好きだから (30代・女性)
住み続けたい	近所さんが仲良し (70代・女性)
将来は他へ移りたい	八幡は何もない (10代・男性)
将来は他へ移りたい	学びたいことを学べる場所がない (10代・女性)
将来は他へ移りたい	日当たりのいい場所へ行きたい、八幡は寒い (50代・女性)
将来は他へ移りたい	不便 (40代・男性)
将来は他へ移りたい	病院とか、子供の近くで生活するため (60代・女性)
将来は他へ移りたい	実家の親が心配だから (40代・女性)
将来は他へ移りたい	介護施設が近くにある地域に移るかも (80代・女性)
将来は他へ移りたい	子供夫婦のいる都会に移りたい (80代・男性)
将来は他へ移りたい	立地条件のいいところに住みたい (50代・男性)
どちらともいえない	老後はどうなっているかわからない (50代・女性)
どちらともいえない	進路が未定 (10代・男性)
どちらともいえない	壱岐に仕事がない (50代・男性)
どちらともいえない	親や知人が島外に多いため (50代・女性)

どちらともいえない	仕事の関係上（40代・女性）
どちらともいえない	子どもが島外に住んでいるため、将来はわからない（60代・女性）
どちらともいえない	いずれは結婚したり、家を出ないといけないかも（40代・女性）
どちらともいえない	歳を取ると子供の意見を重要視することになる（70代・男性）
どちらともいえない	将来が見えない（50代・女性）
どちらともいえない	免許がなくなると買い物に不便する（70代・男性）
どちらともいえない	町会費（公民館等々）が多い（50代・女性）

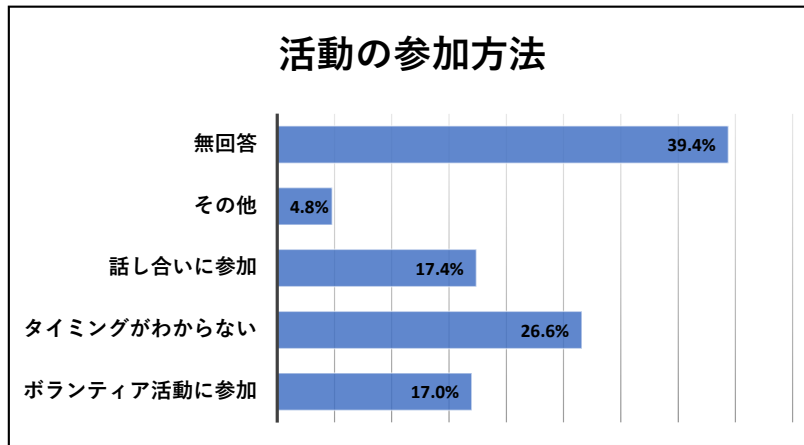
⑦八幡まちづくり協議会設立準備委員会？



⑧まちづくり活動の参加について



⑨まちづくりの活動にはどのような形で参加したいですか？



アンケート問8・八幡まちづくり活動に参加したくない理由

高齢だから
仕事忙しい
時間が無い・難しい
子供の減少、空き家の増加、街灯すら手をつけてくれない現状で期待できない。
人見知りする。
仕事が不規則でしたくないというより時間が合わない、時間が合えば参加したいと思う
今のところ興味がない
介護をしていて行けない

アンケート問8・八幡まちづくり活動に参加したくない理由

思うように動けないから（体が不自由）
活動の内容による
高齢者が多いため町の役が早く回ってくるから。役を減らすことも考えたほうがいい
無関心が一番
子供が参加できることだったら参加したい
子育てで時間がない

アンケート問9・まちづくり活動にどのように参加したいですか（その他）

自分ができること（できる時間）だけでいいならなんでも協力したい
高齢でも参加できることがあれば
もっと楽しく人生生きたいのでできることがあればなんでも
舌岐の島をもっと賑やかな島にしたい
日程が合えば参加したい
ボランティアグループを立ち上げているが八幡地区ですることは今のところなし

【私の趣味 ベスト10】

- 1位 料理
- 2位 釣り
- 3位 手芸・裁縫
- 4位 読書
- 5位 旅行
- 6位 カラオケ
- 7位 音楽鑑賞
- 8位 野菜作り・農業
- 9位 スポーツ
- 10位 映画鑑賞・将棋・大工

【今、興味があること ベスト10】

- 1位 子どもの成長・将来
- 2位 孫の成長・将来
- 2位 育児
- 2位 野菜作り・農業
- 5位 仕事
- 5位 旅行
- 7位 釣り
- 7位 園芸
- 7位 音楽
- 10位 リンピック・スポーツ・資産

【八幡地域で自慢できるところ ベスト10】

- | | |
|-----------|-------------|
| 1位 左京鼻 | 6位 人が親切・優しい |
| 2位 海 | 6位 魚介類・食べ物 |
| 3位 はらほげ地蔵 | 8位 団結力 |
| 4位 景観・自然 | 8位 カズラ曳き |
| 5位 海女さん | 10位 ウニ |



※アンケート問12の集計結果

アンケート問7 八幡の現状について（不満の理由）

番号	理由
01・道路整備	地域的に昔の差別があるのか行政の仕事が遅い（50代・男性）
01・道路整備	溝の作りが不満（要望しても改善されない）
01・道路整備	浦もだが、夏場特に八幡山の草が伸び放題で見苦しい
01・道路整備	お墓の道が狭いので対向車が通れる幅にしてほしい
01・道路整備	街灯が少ない。暗い
01・道路整備	道の広さに対して車が多く危険な時がある
01・道路整備	通常使用に問題はないが少し狭い
01・道路整備	路面が悪い
01・道路整備	左京鼻線が狭い
01・道路整備	行政の懐を考え、危険カーブ（観光道路）だけでも拡張を！
01・道路整備	左京鼻線のカーブの所、草木が生い茂って先が見づらく危ない
01・道路整備	浦部に入っていく道が狭い、離合が難しい
01・道路整備	歩行者や車が見えにくいときがある
01・道路整備	道路標識を増やして欲しい
01・道路整備	八幡入り口からはらほげ地蔵への道路がいまだできない
01・道路整備	路駐が多い、道脇に洗濯物を干したりしている
01・道路整備	保育所の送迎で子供だけで走っていたりすることが多い、危ない。
01・道路整備	浦部の丘町の中道は一步通行にしてほしい（離合するところがない）
01・道路整備	中央線や路肩帯の白線が消えていて危ないところがある、保育所の交差点etc
01・道路整備	溝にゴミがたまる。年に一度くらいは掃除して欲しい
01・道路整備	一日道に車が止めてあり通りづらい
01・道路整備	駐車場がなく、路上駐車が多い
01・道路整備	地中水道パイプの水漏れ修理がまだできてない
01・道路整備	独立歩道がないし、白線は消えている（70代・男性）
01・道路整備	下水道の整備をしてほしい（40代・女性）
01・道路整備	狭い（50代・女性）
01・道路整備	路肩が狭いのに路駐が多くて歩きにくいし危険（50代・男性）
01・道路整備	墓地への道を整備してほしい（50代・女性）
01・道路整備	八幡小学校より西側は生活道路が狭く緊急車両の通行が難しい（70代・男性）
01・道路整備	路上駐車が多い、駐車場の不備（50代・男性）
01・道路整備	道路はきれいでも道脇にはゴミが多い（60代・女性）
01・道路整備	八幡浦の中道は一方通行にしたほうがいい（50代・女性）
02・ゴミ収集	分別しない人がいる。年配者にもわかりやすく細かい説明書が必要
02・ゴミ収集	漁具等を出せない
02・ゴミ収集	ルールを守らずに何でも出している人がいる
02・ゴミ収集	もっと出しやすいシステムを
02・ゴミ収集	分別しない人のしわ寄せがくる
02・ゴミ収集	きちんと分別できていない

番号	理由
02・ゴミ収集	不燃物など指定の袋に入れない人がいる
02・ゴミ収集	決まったルールを守らない人がいる
02・ゴミ収集	ペットボトルのふた入れを再設置してほしい
02・ゴミ収集	ポイ捨てが多い、海辺は漁具のゴミが多い
02・ゴミ収集	時間が合わない
02・ゴミ収集	できたら粗大ごみやリサイクル品も取りにきてほしい（60代・女性）
02・ゴミ収集	回収日が少ない（50代・女性）
02・ゴミ収集	燃えるゴミを出す日を自由にしてほしい（70代・女性）
02・ゴミ収集	リサイクル家電などをまとめて捨ててほしい（80代・男性）
02・ゴミ収集	加齢に伴いゴミステーションまでの運搬ができるか心配（70代・女性）
02・ゴミ収集	ステーションまで遠い（80代・女性）
02・ゴミ収集	リサイクル車が近所まで来て欲しい（80代・女性）
02・ゴミ収集	軽トラを雇い指定場所まで持って行っている（80代・男性）
03・公共交通	車の運転免許がないと生活できない
03・公共交通	バスに関してはほとんど乗れる状況にない、時間、バス停まで遠いなど
03・公共交通	フェリー便とバスの連絡便が欲しい
03・公共交通	バスの本数が少ない
03・公共交通	高齢者の通院や買い物の利便性があるとよい
03・公共交通	バスを小型化して増便してほしい（高校通学用）
03・公共交通	通学の送迎、高齢者の通院などの送迎に不満
03・公共交通	時間の間が長い
03・公共交通	バス路線の新ルート希望、内海湾線の通行を要望
03・公共交通	通院のときバス便が少ないのが不便
03・公共交通	バスは便が少ないうえに料金が高い（60代・男性）
03・公共交通	マイクロバスでいいから便数増やして安くして（60代・男性）
03・公共交通	近所にバス停がない・遠い（60代・女性）
03・公共交通	利用者の統計をとり、時間帯を決めて運行できないか（80代・女性）
03・公共交通	バスの路線がわからない（30代・女性）
04・買い物	八幡地区だけではほぼ不可能に近い
04・買い物	車がないと不便
04・買い物	高齢者（特に車を持ってない）の買い物支援
04・買い物	店がない
04・買い物	地元で欲しいものが揃わない
04・買い物	店が無い（浦部の東だけ西側は無い）
04・買い物	飲食店が出来て欲しい
04・買い物	ちょっとしたものなら買えるが結局揃わないから大型店に行かないといけない
04・買い物	必要なものが無い、古くても置いてある
04・買い物	買い物に行くのに車代がかかるから安売りでも高くつく
04・買い物	スーパーなどへ遠い（50代・女性）

番号	理由
04・買い物	車がないと買い物にバスを利用・・・歳を取ったらそれもきつい（60代・男性）
04・買い物	イオンだけでなく郷ノ浦方面にも連絡バスが欲しい（60代・女性）
04・買い物	今は車があるが、歳をとったら後々困る（60代・女性）
04・買い物	以前に比べてスーパーが多くなって便利だが野菜・魚が安く生産者が困っていないか
04・買い物	近所に小売店すらない（70代・男性）
04・買い物	一人暮らしなのでなかなか買い物に行けない（80代・女性）
04・買い物	移動型スーパーをできないか（80代・女性）
04・買い物	近くに店が無いから車を頼まないといけない（70代・女性）
05・福祉環境	子育て支援に対して高齢者支援は良いと思えない
05・福祉環境	老人ホーム等の収容施設を増やしてほしい
05・福祉環境	在宅介護に手を伸ばすことを考えて欲しい
05・福祉環境	高齢者が集う場所が少ない（サロンあるが一部の方のみ）
05・福祉環境	孤立している高齢者がいる
05・福祉環境	年金が少ない
05・福祉環境	寝たきり状態になったときなどの安価な施設等がなくて不安
05・福祉環境	他地域にはデイサービス等の施設があるのに八幡にはない
05・福祉環境	施設そのものが八幡にない
05・福祉環境	高齢者の集いの場、交流の機会があればいいと思う
05・福祉環境	独居老人や高齢者にもっと声かけをしてほしい（60代・女性）
05・福祉環境	高齢者が集まれる場所があったらいい、児童館とか（60代・女性）
05・福祉環境	料金が安い（40代・女性）
05・福祉環境	老人クラブの活発な活動を！（70代・女性）
05・福祉環境	週一でのデイサービスは足りない（60代・女性）
05・福祉環境	老人施設等、空きがないためすぐに入居できない状況（50代・女性）
05・福祉環境	高齢者が集まれる場所があるといい（50代・女性）
06・子育て	少子化問題
06・子育て	放課後の児童クラブがない（30代・女性）
06・子育て	子どもたちが遊べる場所・物が欲しい（20代・女性）
06・子育て	子どもセンターのような施設が近くにあればいい（30代・女性）
06・子育て	学童クラブがあったらいい（30代・女性）
06・子育て	小・中・高にもっと支援を！（40代・男性）
06・子育て	児童館の老朽化が目立つ、新しくなればいいなと思う（50代・女性）
06・子育て	児童館の利用目的は？機能しているのか疑わしい（60代・男性）
06・子育て	近くに子供が安全に遊べる遊具がない、増やしてほしい（60代・女性）
06・子育て	海岸沿い、道路は路上駐車・・・危ないところだらけ
06・子育て	18歳まで支援が必要と思う（50代・男性）
06・子育て	支援になっていないことが多々ある（60代・女性）
06・子育て	学童施設がない、設置してほしい（30代・男性）
06・子育て	保育所の等もう少し入りやすい基準にして欲しい（50代・女性）

番号	理由
06・子育て	児童館をもっと充実させて学童クラブなどに利用出来たらいいと思う。公園の要素も入れると利用者が増えると思う（30代・女性）
07・防犯安全	下着泥棒にあった。警察は何もしない
07・防犯安全	街灯が少ない（特に田舎道）
07・防犯安全	防犯カメラの設置
07・防犯安全	島らしい水際対策を考えた方がいい
07・防犯安全	戸締り無しの家も多い。防犯意識が低い
07・防犯安全	街灯を明るいものに変えてほしい
07・防犯安全	街灯の増設置・今無いところへの設置（60代・女性）
07・防犯安全	生活館の道路側に街灯があるといい
07・防犯安全	不審者情報を学校等通してもっと頻繁に発信して欲しい
07・防犯安全	身体が不自由な人の避難時の対策はできているのか不安。
07・防犯安全	空き家が多く防犯上不安
07・防犯安全	駐在所がないから不安（60代・男性）
07・防犯安全	左京鼻入り口に防犯カメラ設置を（50代・男性）
07・防犯安全	防犯灯が全くない（60代・男性）
07・防犯安全	高齢者帯なので、防犯ブザーのようなものを行政にしてほしい（70代・女性）
07・防犯安全	警察官の定期巡回を希望（80代・男性）
08・災害対策	独居老人は誰が助けるの？
08・災害対策	台風などの避難場所がない。連絡も一切ない
08・災害対策	津波以外は大丈夫？
08・災害対策	避難所までが遠い
08・災害対策	田舎道は暗いし、公民館自体消滅しそうな位。近隣のマンパワー不足
08・災害対策	いざというとき心配
08・災害対策	避難場所が整ってない・快適性の不安
08・災害対策	手足の不自由な高齢者のための災害対策は？
08・災害対策	海拔をわかりやすく表示して欲しい
08・災害対策	どうするのか全くわからない
08・災害対策	避難所施設を建設してみたらどうか（お寺が避難場所だからそのあたりに）
08・災害対策	実際に大きな災害が起きて避難することになった際、現状では対応できないと思う
08・災害対策	どこに何があるのかよくわからない（60代・男性）
08・災害対策	実際の災害の想定をして訓練すべき（60代・男性）
08・災害対策	公民館ごとに話にはなっても実際動いてないから机上の空論（50代・男性）
08・災害対策	家の前の護岸に堤防がなく不安（80代・男性）
08・災害対策	避難所までのルートがわからない（70代・男性）
08・災害対策	海拔0メートルに近く不安（30代・男性）
08・災害対策	ハザードマップを目につきやすい場所に大きく掲示してほしい（60代・女性）
08・災害対策	災害レベルの早期通知を（50代・男性）

番号	理由
08・災害対策	避難訓練などもっとやるべき (50代・女性)
08・災害対策	訓練らしい訓練をしていない (50代・男性)
09・地域行事	若者が少なく見方も変わってきている仕方ない
09・地域行事	昔ながらの行事についても見直しが必要では？
09・地域行事	行事が減っている
09・地域行事	多くて覚えられない
09・地域行事	なくなった行事があり少しさみしい
09・地域行事	年々行事が減ってきている
09・地域行事	若年層がどうにかしてくれよ、という風潮がみえる
09・地域行事	唯一続くカズラ曳だけは継続して欲しい
09・地域行事	カズラ曳のやり方の見直しを
09・地域行事	何事にも経費がかかりすぎ
09・地域行事	仕事があるから参加できない (50代・女性)
09・地域行事	これ以上行事はいらない (40代・女性)
09・地域行事	子供から大人までみんなで参加できるものがない (70代・男性)
09・地域行事	仕事を休まないといけないのが困る (50代・女性)
09・地域行事	声かけ、周知をもっと多くして参加者を増やしてほしい (60代・女性)
09・地域行事	一部協調性がないと思う。進んでやる人が一緒 (60代・女性)
09・地域行事	カズラ曳の時に何か所か、家の軒先にちょうちん (LED) を取り付けたらどうか。昔より暗くて寂しい気がする。ちゃんと保管すれば数年は使えると思う。 (40代・女性)
10・近隣関係	近所には高齢者世帯が多いが民生委員等は業務的に大丈夫？
10・近隣関係	田舎道は暗いし、公民館自体消滅しそうな位。近隣のマンパワー不足
10・近隣関係	溶け込めていないように感じる、「死」から来たらずっと「死」と呼ばれる
10・近隣関係	昔に比べるとつきあいがうすくなっている様に感じる
10・近隣関係	もっとふれあいの場を作って欲しい
10・近隣関係	全然ふれあいや交流が無い
10・近隣関係	以前より挨拶等も減った気がする
10・近隣関係	個人 (利己) 主義的な考えが多い
10・近隣関係	昔は近所の人同士仲良くて鍵をかけずに出かけても平気だった、今はできない。
10・近隣関係	近所の人にも2.3日に1回くらいしか会わない
10・近隣関係	最近あまり顔をあわせない (50代・女性)
10・近隣関係	猫が増えすぎ、餌を与えるからダメ (50代・男性)
10・近隣関係	人の悪口は聞きたくない (50代・女性)

01・道路整備	1.生活道路の整備状況について
02・ゴミ収集	2.ごみ・リサイクル収集について
03・公共交通	3.公共交通の利便性
04・買い物	4.買い物等の利便性
05・福祉環境	5.高齢者等への福祉環境

06・子育て	6.子育て支援環境
07・防犯安全	7.防犯、安全対策
08・災害対策	8.災害時・緊急時の安全対策
09・地域行事	9.地域の行事
10・近隣関係	10.近隣関係

アンケート問11・日常の暮らしの中で不安に感じていること・困っていること

農地の維持・管理（50代・男性）
不審者情報は教えて欲しい（50代・女性）他
バスの発着便が少ない（10代・男性）他多数
完全放置・放置気味の空き家が多く実際危険レベル・景観もよくない（30代・女性）他多数
バスの利用者が少ないのに大型バス、小型にできないのか。狭い道では離合しにくい。（40代・女性）他
10～15年後の人口が不安（70代・女性）
人口減少がこの先不安（70代・男性）
散歩していると左京鼻方面の空き缶やゴミが目立つ（70代男性）
減収、年金の支給額、老後の生活（50代・男性）他多数
緊急時の避難場所が近くにない（芦辺までは遠い）車が見つからない時はどうするのか（70代・男性）他
漁が減ってきて生活も厳しい（60代・女性）
少子高齢化(による後継者不足。)(50代・男性)他多数
漁業不漁のこと（70代・男性）他多数
収入が少ない（70代・女性）他
子供の数が少なく、集団生活での経験が限られる気がする。学童施設が欲しい（20代・女性）
西から保育所の辺りまでの小学生の下校時、道が狭いので減速しても怖い（40代・女性）
左京鼻を通るとき、観光客の人にいやな顔をされる。生活道路と知らないから？（40代・女性）
徒歩で行ける店が少なくなった（50代・男性）
道路に路駐している車で通行しにくい、また歩行者に気づきにくい（50代・女性）
子供が病気になったときに近くに預けられる人がいない（30代・男性）
ポイ捨てが多い、住民もちゃんと考えるべき（70代・女性）
防犯意識が低く、鍵をかけてない家がほとんど。出前講座（警察等の）を依頼して意識の向上を！（40代・男性）
たまに道路に買い物袋ごとゴミが捨てられている（40代・女性）他
このような不景気が続くと死人が出るのではないかと心配（50代・女性）
今年はとにかくずっと不漁、このままでは生活するのが大変（70代・男性）
災害時の避難場所・方法（60代・男性）他多数
高齢者の急な道路横断（60代・男性）
温暖化による気候変動で災害の多数発生することへの不安（50代・男性）
竹林・樹木の放置、景観を損ねる（50代・男性）
介護のこと（50代・女性）
八幡の町もなんだか淋しく感じる（80代・男性）
狭い場所での対向車が怖い（30代・女性）
前例踏襲主義が根強い（50代・男性）
船の便（50代・女性）
小さな子に対する安全対策（20代・男性）

アンケート問11・日常の暮らしの中で不安に感じていること・困っていること

加齢による健康面が不安（60代・男性）
老夫婦は介護状態になったとき、安価で預かってくれるところがないのが一番心配（70代・男性）
子供が自由に遊べる場所がないです、海や車通りで危ない（30代・女性）
若者の人口減をなんとかして欲しい（70代・男性）
老後、年金だけでは足りない。安定して生活ができるよう国、市、漁協などと対策を考えて欲しいです（60代・女性）
運転できない年齢になったとき、地域の状況がどうなっているのか不安を感じる（50代・女性）
空き家の処分について対処方法が知りたい（50代・女性）
市と連携して空き家処分の方法を持ち主に指導して欲しい（60代・女性）
孫の未来（70代・女性）
路上駐車が多すぎていつか事故が起こるんじゃないかと不安（40代・女性）
子供の数が減ってきているから、若い世代が安心して生活できていけるような環境や、職業が増えればいいと思う（50代・女性）
夫の車の免許証が無くなると買い物にも不安がある（70代・女性）
家族が入院中、元気がなく自分も先が不安（70代・男性）
八幡の人間は性格が悪い、人の足元をすくう人が多い（60代・女性）
海砂掘りをやめて欲しい（60代・女性）
税金が高く、年金が少ない（60代・男性）
独居老人宅が心配、日ごろから近所での声かけを（60代・女性）
地震訓練や、津波訓練等、年に一回くらいは実施したほうがいい（60代・女性）
八幡の海岸沿いが汚いから必要ないものは置かないようにしてほしい。自分の土地と勘違いしている（70代・女性）
バスの停留所を増やしてほしい（40代・女性）
今は元気でも一人なので病気になった時が不安（70代・男性）
せっかく子供たちが掃除しているのに心無い人がゴミ・空き缶（特に酒）を捨てるのをどうかして欲しい（50代・女性）
車が運転できない世代の移動手段（施設・病院への面会等）が少ない（40代・女性）
若手が少ないのでこの先地域の催し等が継続できるだろうか（40代・男性）
通学路が危険じゃないか？（30代・女性）
自分が死去したあとの財産分与（80代・女性）
津波がきたら家が流されるから地震が怖い、災害対策は大丈夫か心配（80代・男性）
家や相続のことで子や孫に迷惑をかけてしまうのではないかと心配（70代・女性）
孤独死をしたときの地域の人たちへの迷惑（80代・女性）
残される家族（90代・女性）
介護保険や後期高齢者（税金）が高いので払えるのか不安（80代・男性）
外食がちょっと不便。（30代・女性）
公民館単位の役決め。若くてもしない人もいる、できそうもない人を選ぶ。（50代・女性）
路上駐車・歩道内駐車は迷惑（50代・男性）他多数

アンケート問11・日常の暮らしの中で不安に感じていること・困っていること

家の築年数が古いので心配（70代・男性）

犬の放し飼い（50代・女性）

水道水が安心して飲めない（60代・男性）

アンケート問14・八幡地区は将来どのようなようになるほうがいいか、どのような取り組みをして欲しいか

八幡地区に、働く場所の確保（50代・男性）

空き家等を壱岐市の協力によりまちづくり活動を利用して活用できるといい（50代・女性）

八幡地区の環境整備（70代・男性）

人がたくさん来てくれる町になればいいなと思う（10代・男性）

空き家対策・壱岐市では取り組みがあるのだから活用したらいいと思う（10代・男性）

人口増加。市で取り組んでいても成果がないと意味がない。若者に希望や魅力を感じさせるような市（まち）にしてもらいたい（50代・男性）

子供の遊び場がない、児童館をもっと綺麗に安全に整備して欲しい（50代・女性）

バス停に屋根をつけて欲しい（雨の日でも大丈夫なもの）（50代・女性）

児童館か、青島公園に遊具を入れて欲しい（50代・女性）

生活館とかで「そろばん」「書道」の塾が出来たらいい（50代・女性）

公園や、散歩中に一時休めるような場所を設置して欲しい（70代・女性）

若い人と高齢者が一緒に話し合える場所があれば楽しく暮らせる町になると思う（70代・男性）

八幡地区の年間スケジュール（お祭り・行事）がわかるものがあればいい（40代・女性）

3世代、異業種交流からの収益事業（50代・男性）

歳をとっても生活負担が少ない安心安全に暮らせる仕組み作り（70代・女性）

子供から高齢者まで暮らしやすい地域をつくる（50代・女性）

健康で元気で長生きできる仕組みづくり（50代・男性）

住宅を増やす（70代・女性）

これ以上人口を減らさない、空き家を増やさない。地域行事継続のため方策を講じる（30代・男性）

現状のように地域の人たちが仲良くできるといい（80代・女性）

空き家を改築し他の用途で使う（10代・男性）

子供たちが多く増えて昔の様な活気ある町になって欲しい（70代・男性）

高齢化が進み、空き家も目立つ、できるだけ空き家がうまってくれるといい（40代・女性）

時代の流れで過疎化していくとは思いますが八幡はそうならず若者がいる町にしていきたい。壱岐中色々なところに行くが若者がいない町はもちろん子供も少なくて元気がない。若者が住みたいと思えるような魅力的な町であってほしい（40代・男性）

高齢者が元気でいられる取組（例えば公園に健康器具を置く）気軽に集まれる場所作り（屋外屋内問わず 空き家を利用したり、ベンチを設置してみたり）（40代・女性）

近所の人同士で見守り声かけをする仕組み作り（40代・女性）

楽しい行事が少ない、若者が色々やって欲しい。協議会ができるのが遅い（70代・女性）

出会い、会話が大切。高齢者は家にいるばかりじゃいけない！！（70代・男性）

笑うことが大事、人との関わり。歌。話。そういう場を設けて欲しい（70代・男性）

アンケート問14・八幡地区は将来どのようなようになるほうがいいか、どのような取り組みをして欲しいか

せっかく海が近くて海産物も多いので観光客向けに魚捌き体験や、磯体験とか気軽にできる方法を考えて実践してみたらどうか。釣った魚をその場で食べたりできるといい。(30代・女性)
シーカヤックのようなもので無人島(赤島)とか行く体験も楽しそう。SNS映えしそう(30代・女性)
SNSで宣伝する(50代・男性)
高齢化、若者が増えている傾向も見えないので現在の状態確保、継続を考えるべき(70代・男性)
漁師・海女の町とし成立できることを願うが、就業人口の減少、高齢化の加速に祭事・行事の運営が各団体厳しくなっている。地域内全ての行事の年間スケジュール作成、運営方法の再検討、構成が必要。協議会として意義ある運営と活動、補助金確保、適正支出を期待してます(50代・男性)
ゴミのポイ捨てが多いです、観光客も多い八幡のまち、きれいなまちにしたいです(50代・女性)
過疎化に歯止めをかけることは、非常に難しいと思うが、若者の住みやすい(定着)地域づくりが必要。(60代・男性)
東西関係なく一体となって町づくりを考えなおすべき、他の町と比較した意見です(70代・男性)
小・中学生が登下校中、元気に挨拶してくれるとこちらも元気をもらい嬉しく感じる(60代・男性)
道の駅みたいなものが出来ればいいと思う(50代・男性)
Uターン・Iターンの定住者を目指してまちづくりをしたらどうか、子育て世代が特に魅力を感じるように充実させる。その他は高齢者、マイカー無しの人のための利便性を考える(40代・女性)
花を植える(春は桜、秋は秋桜)道の側に鉢を置くなど(60代・男性)
漁民が豊かに生活できる漁師町を作っていきたい(40代・男性)
八幡地区に老人施設を作って欲しい、年金だけでまかなえるような。手厚い介護じゃなくていいから、みんなで和気あいあい話せたり、元気な老人は野菜を作ったり。みんなで食べて、そこに子供たちが参加して芋ほりしたり、花植えたりできるふれあいの場を作って欲しいです。地域で・・・例えば家にある粗品のタオル、ティッシュ、その他要らないものを持ち寄り誰でも気軽に出入りできる施設、是非お願いします(60代・女性)
空き家が有効活用されIターンやUターン者が住んだり、整備されて地域のコミュニティーの場として使ったりしたら、人が集う場所が増えて活気が戻ってくると思う(50代・女性)
もう少し市議の協力が見えるようにしてほしい(50代・女性)
他の地域から移りたい！と思わせる住環境、そのための施設作り(30代・女性)
防犯カメラの設置希望(60代・男性)
児童館の充実な整備を！(60代・男性)
公衆トイレの整備(60代・男性)
海岸や空き地を利用したの駐車方法の見直し(60代・女性)
少子化に対する取り組み(30代・女性)
芦辺小学校との合併・小学生のスクールバス利用(30代・女性)
通院用のバス(特に郷ノ浦方面)がでてくれるといい(70代・男性)
あと10年もすれば年寄りだらけの町になる、今のうちに若い人が増えるように対策をしないと！みんなの考えを集めて寄って考えよう(60代・男性)
若い人から高齢の方まで広く関係を持てる助け合える地域を目指す(10代・女性)
移住者を受け入れやすい環境にしたり、八幡の良さを知ってもらうイベントがあればいいと思う。他の地域と連携した行事で交流を持ち視野が広がるといいな。(10代・女性)

アンケート問14・八幡地区は将来どのようなようになるほうがいいか、どのような取り組みをして欲しいか

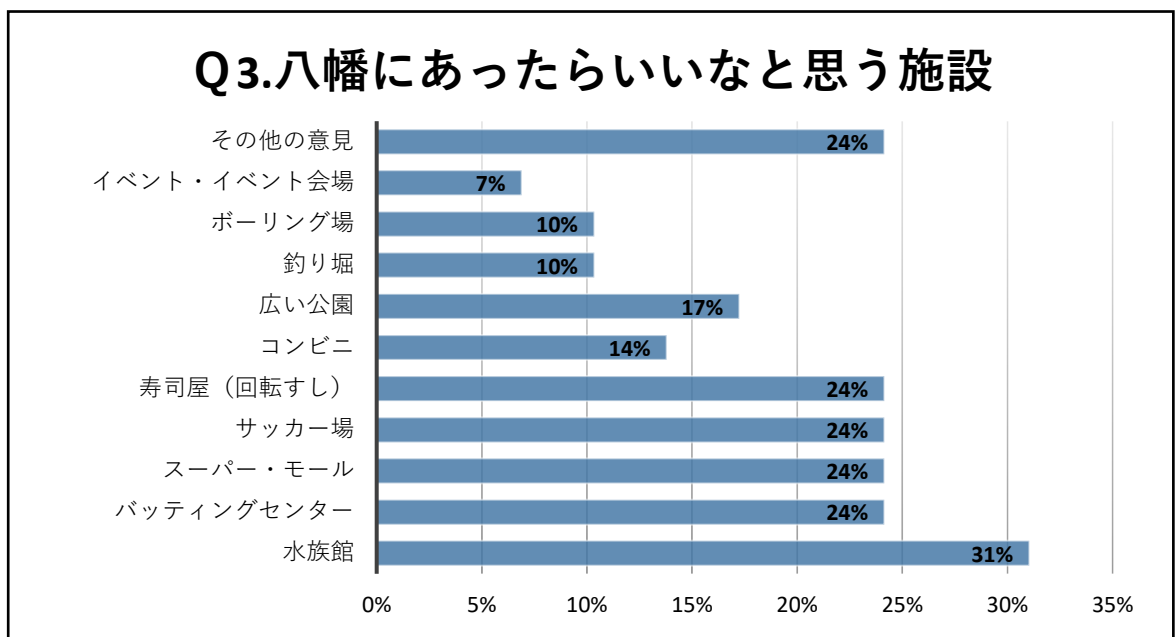
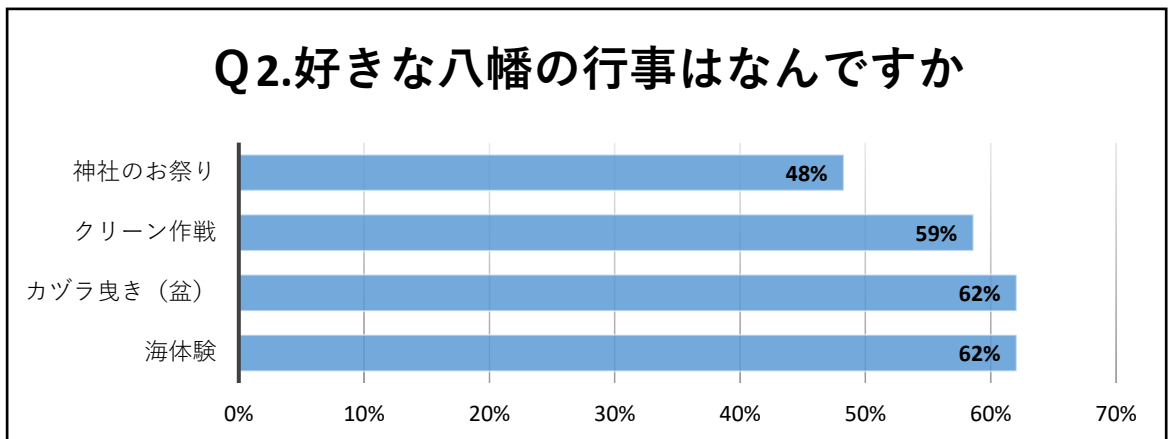
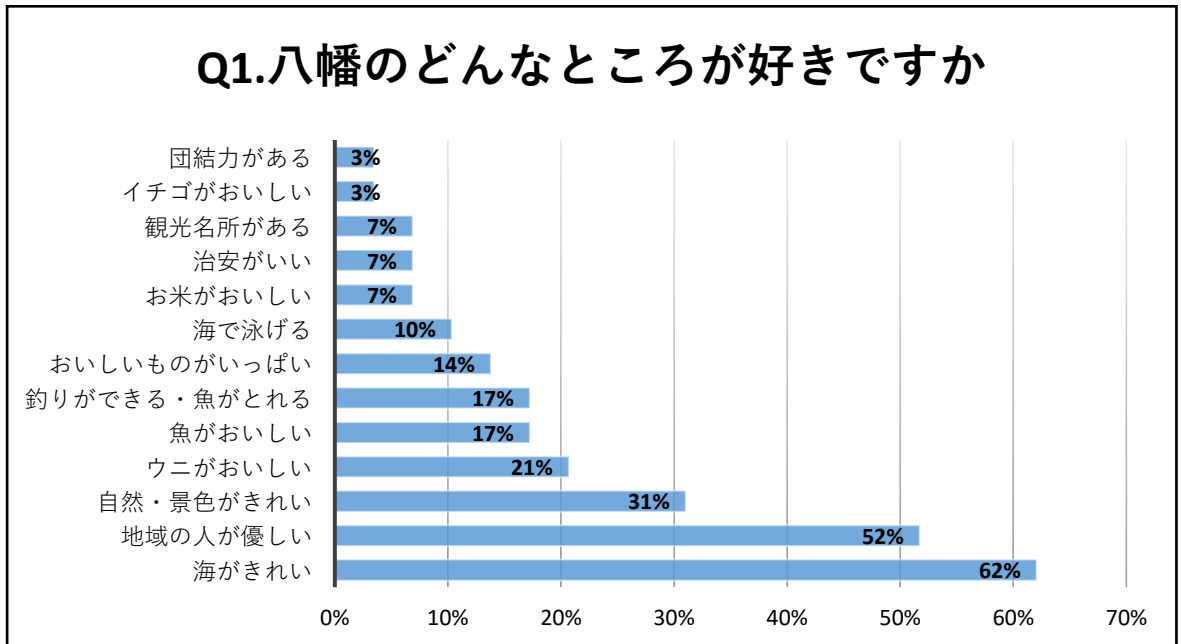
新しい行事をみんなで作って明るい八幡町へ！（70代・女性）
地域にスーパーからの出張が欲しい（70代・男性）
高齢になっても働ける場所が欲しい（60代・男性）
昔の様に漁が多くなることを願います（60代・女性）
芦辺浦に比べてみてもあまりに公衆トイレが少ない、観光客の為に もっと増設を（50代・女性）
町内会費などのお金を払わないで住んでいる人がいると聞いたことがある、不公平！公平に！（50代・男性）
港町なので、漁業に関係する仕事が出来て従事して暮らせると活気ある町になると思う（60代・女性）
まちづくり協議会とは？公民館・浦会との関係は？いまいわからない（60代・男性）
生活館を利用して独居世帯への食事配達等、生活館の利用をもっと！（60代・女性）
田河から八幡へ続く海岸沿いの景観はいいと思うからゴミや雑草を掃除するだけでもっと良くなると思う。環境が人を作ることもあると思う（60代・男性）
安心して住みやすいまち、また島を離れ都会で頑張っている人たちが誇れる島であってほしい（60代・女性）
若い人たちが住みやすい町づくりについて話し合ってください（70代・男性）
こどもを増やさないといけない！Uターン・Iターンもどんどん考えてほしい（50代・女性）
人がいなくては何もできないので、地元に残る人材を育てる（80代・女性）
施設に身内が入ってもタクシー代（往復8000円）が高価でなかなか会いに行けないと聞きます、何かできないですか？（40代・女性）
「八幡地域」というより「諸吉地域」で考えた方が広くイメージができる（50代・男性）
八幡は漁業の町、ますます漁業は落ち込んでいき、近い将来生計がたたなくなると思う、過疎化は避けて通れない。将来免許証の返納者が増え買い物に事欠くようになる。乗合の車（バス）が必要になってくるのでは？対策を考えて欲しい（60代・男性）
地域の清掃活動を年一回から二回に増やしたらどうか（70代・女性）
人口が減少しているから、将来合併していくでしょうが、地域でもっと盛り上がる行事が必要（60代・女性）
統合してほしい（30代・男性）
活性のある町と言えば若い人が必要だが、雇用形態を多く考えた仕事が大変と思う。そのため、小・中・高の子供達もまちづくりの企画に入れて考え、意見や要望に取り組んだ方がいいと思う
漁業も含め収入性の高い仕事が増えないと人は減っていく。地域行事だけでは限度があることを考慮して取り組んで欲しい。活動内容は明確にして欲しい。（30代・男性）
まちづくり協議会を中心に行事や催し等を協議するといいのでは（80代・男性）
若い人たちがまた戻って住みたいと思えるまちづくりを、環境を整えてほしい（30代・女性）
八幡といえば漁業。低迷してる漁業を復活させ壱岐全体を活気づけてほしい（40代・男性）
将来はもっと子供が増えて若い人たちが帰ってくるようになるといい（40代・女性）

アンケート問14・八幡地区は将来どのようなようになるほうがいいか、どのような取り組みをして欲しいか

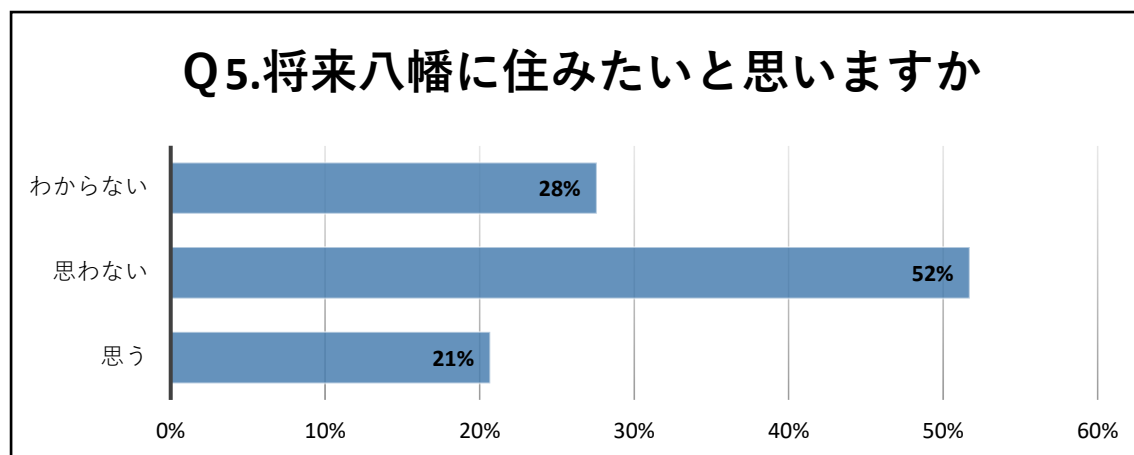
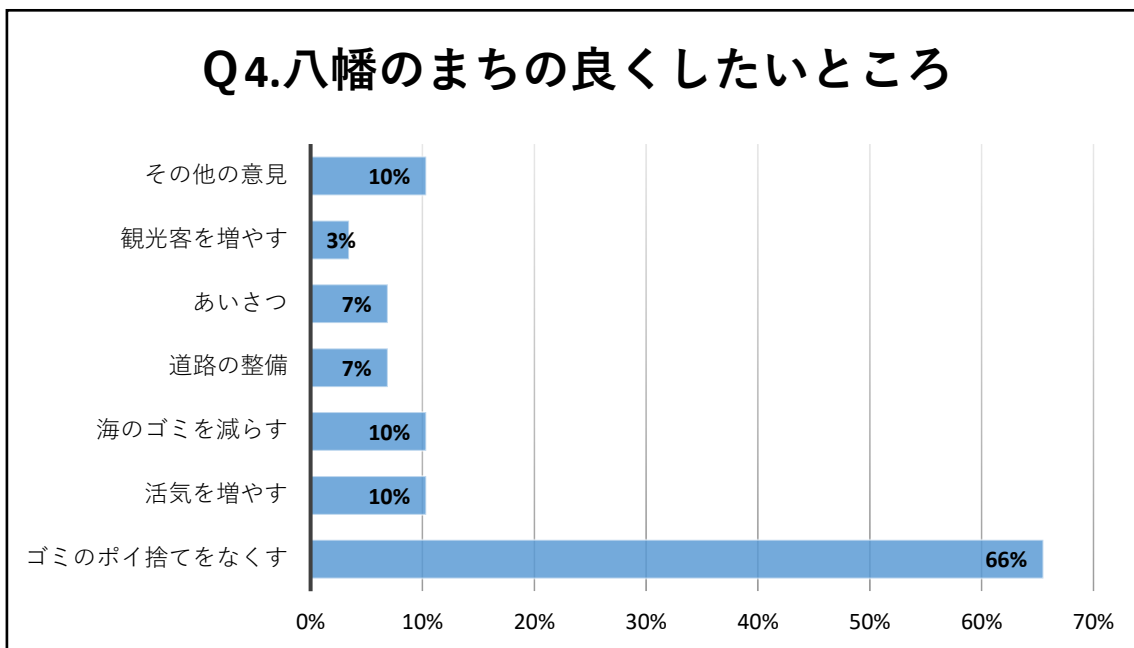
高齢になり独り暮らしになった時、同じような境遇の人や地域の人が一室に集まれる集いの場があるといいと思う。カフェやリハビリができるトレーニングルーム併設の施設があれば寂しさも紛れると思う（40代・女性）
島内でも有名な観光地があるので観光客に八幡に来てもらうように仕掛けることも必要。お土産を開発して商売する（はらほげ食堂）食堂は地域の雇用の場としても大事と考える。開発できればそこに雇用が生まれる（40代・女性）
将来的にまち協は安全安心面と地域の経済活性化対策を担う場となってほしい。利益が出せる団体を目指しましょう（40代・女性）
空き家を崩して駐車場にするのはどうか（50代・女性）
活気が欲しい。八幡でできる仕事があって、他の地域からも八幡に行こう！と思わせる何か。八幡に来ないとないもの。みんなのアイデアを。（50代・女性）
広場などで体操する機会があれば健康管理にもなると思う（70代・男性）
観光とは別に集客できるイベント（魚・牡蛎・ウニ・サザエなどの特産品）（40代・女性）
観光に力を入れてみては？集客施設（土産店・飲食店）道の駅みたいな（60代・男性）
八幡発祥の土産を作り、まずは知名度を上げる、（例）漁師飯・海女飯とか（30代・男性）
上じらに避難場所を作ってほしい。日中の在宅高齢者の把握を（50代・女性）
八幡半島は土地的にも壱岐の東側になっているため土地自体を広げるのは無理だし、人口も減っているので色々難しいと思う。昔より個人個人が消極的、みんなが進んで楽しく出来る何かがいい。（60代・女性）
「まちづくり」みんなでやりましょう、5年後・10年後の八幡が「いいまち」になっていたら嬉しい（40代・女性）
子供が増えて活気ある八幡に！（80代・男性）
若い人が働く場が必要だと思う（60代・女性）
生活館を利用して、コミュニティー活動（体操・手芸・生け花教室等）楽しみを増やす（60代・女性）
島内に働く場がないから若者が島外へ出る、地域より市で考えてもらいたい（60代・男性）
地震など急な災害時の避難場所を高いところ（お寺）あたりに建設して欲しい（60代・女性）
飲食店などができて活性化してほしい（50代・女性）
高齢者も多くなってきているので、いろんな行事が大変。少ない方がいい。（50代・女性）
どうにもできない、ならないと諦めずに、できることをできる範囲でいいから皆で協力してやりましょう。他力本願ではいけないと思う。（40代・女性）

4.住民アンケートの結果

住民アンケート結果 八幡小学校 4年～6年 実施 (2019.11.8)



住民アンケート結果 八幡小学校4年～6年実施 (2019.11.8)



Q3.八幡にあったらいいなと思う施設

【その他の意見】

多目的体育館	信号機	スポーツセンター	本屋
スポーツ用品店	交番	博物館	カフェ
焼肉屋	動物園	リサイクルショップ	ゲームセンター
マクドナルド	野球場	映画館	ファミリーレストラン

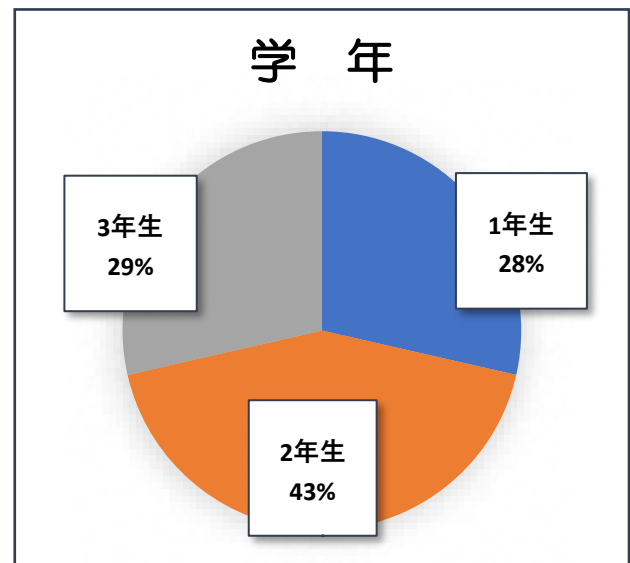
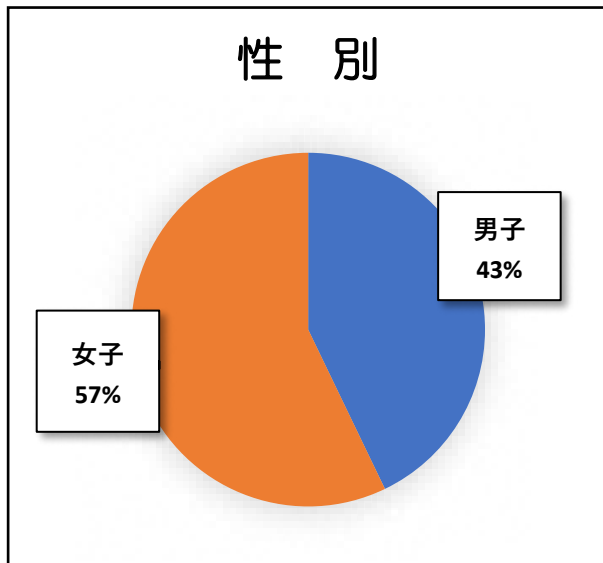
Q4.八幡のまちの良くしたいところ

【その他の意見】

行事を続けて欲しい
電灯を増やして欲しい
安全に遊べる場所が欲しい



住民アンケート結果【中学生】



日常の暮らしの中で不安なこと、困っていること

- スクールバスのバス停付近に野良犬が出たことがあったので少し不安
- スクールバスから降りて家に帰る間の街灯が少ないので不安
- 通学の際、学校まで距離がある
- 野犬が多い
- 店まで遠い
- 挨拶してくれない人がいる

八幡地域で自慢できるもの・こと・場所

- 海
- 魚
- 地域の人たち
- 地域の交流
- はらほげ地蔵
- 左京鼻
- はらほげ食堂
- 青島公園
- うに
- カズラ曳
- 食べ物がおいしい



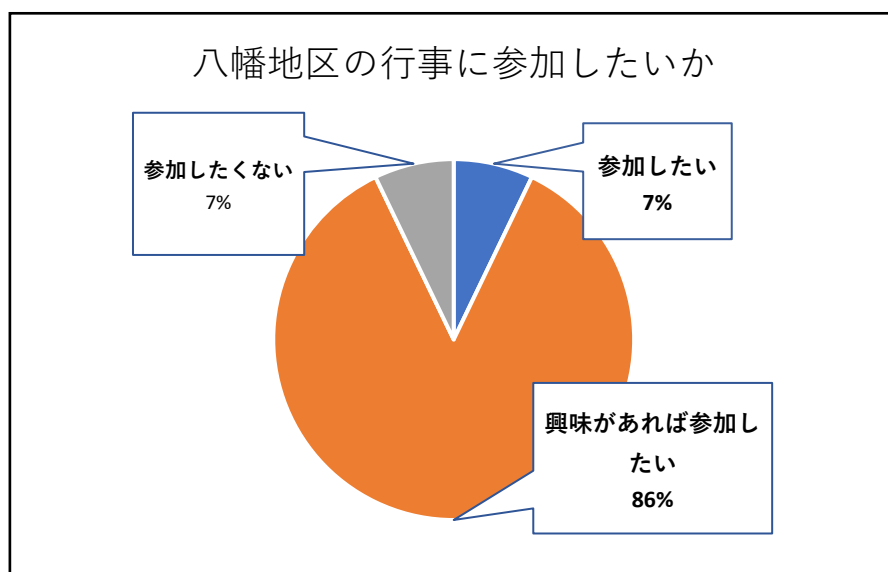
八幡地域にあったらいいなと思う施設・イベント・お店

ファミレス
商業施設
コンビニ
公園
図書館
惣菜屋さん
駄菓子屋さん
商店
介護施設
民宿
サッカー場

将来どのような町になって欲しいか、どのような取り組みを希望するか

助け合える地域
子供が多く賑やかになるといい
住みやすいまちにできるような取り組み
若い人が壱岐に帰ってきてもっと子供が増えるといい
スクールバスを増やしてほしい
道路をきれいに舗装して空き家をなくす
子供が少ないので家族で住んでもらえるようなまちづくり
人口が増えたら活気づくと思う
子供の遊ぶ場所があればいいと思う
もっと地域の人を楽しめるものを（世代を超えて）

八幡地域の行事に進んで参加したいか



5. 八幡地区の現状と課題

① 少子高齢化と後継者不足

八幡小学校区は、高齢化率が40.8%で壱岐市全体と比較しても、高齢化率が進んでいる地域であり、高齢者の独居世帯、高齢夫婦のみの世帯も多い。さらに、市内での就職先が少ないため、島外へ就職・進学を選択する若者も多く、後継者不足も深刻な状況である。

② 空き家対策

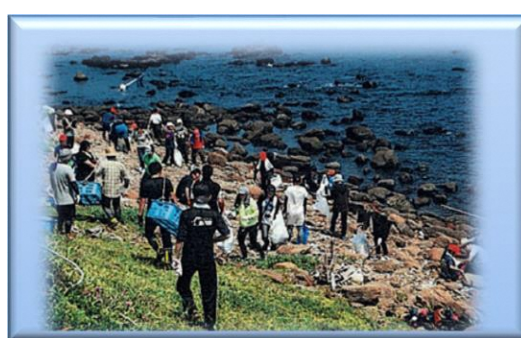
高齢化・後継者不足に伴い、空き家の増加も目について増加している。今は両隣とも空き家で寂しいという住民の声も上がっている状況、倒壊寸前の危険な家屋もあり、早急な対策が必要である。

③ 安心・安全な環境の整備

防犯意識が高いとは言えない現状。不審者の目撃等も年に数回あるが、地域間の情報共有ができていない。高齢の独居世帯の見守りも必要。

④ ゴミ問題

各自治体単位での清掃活動はあるが、規模は小さい。景勝地として知られる八幡半島だが、ゴミのポイ捨てが多い。八幡小学校も毎年「八幡半島けねやねクリーン作戦」を実施しているが、生徒数の減少に伴う人員不足で年々規模が減少傾向になっている。



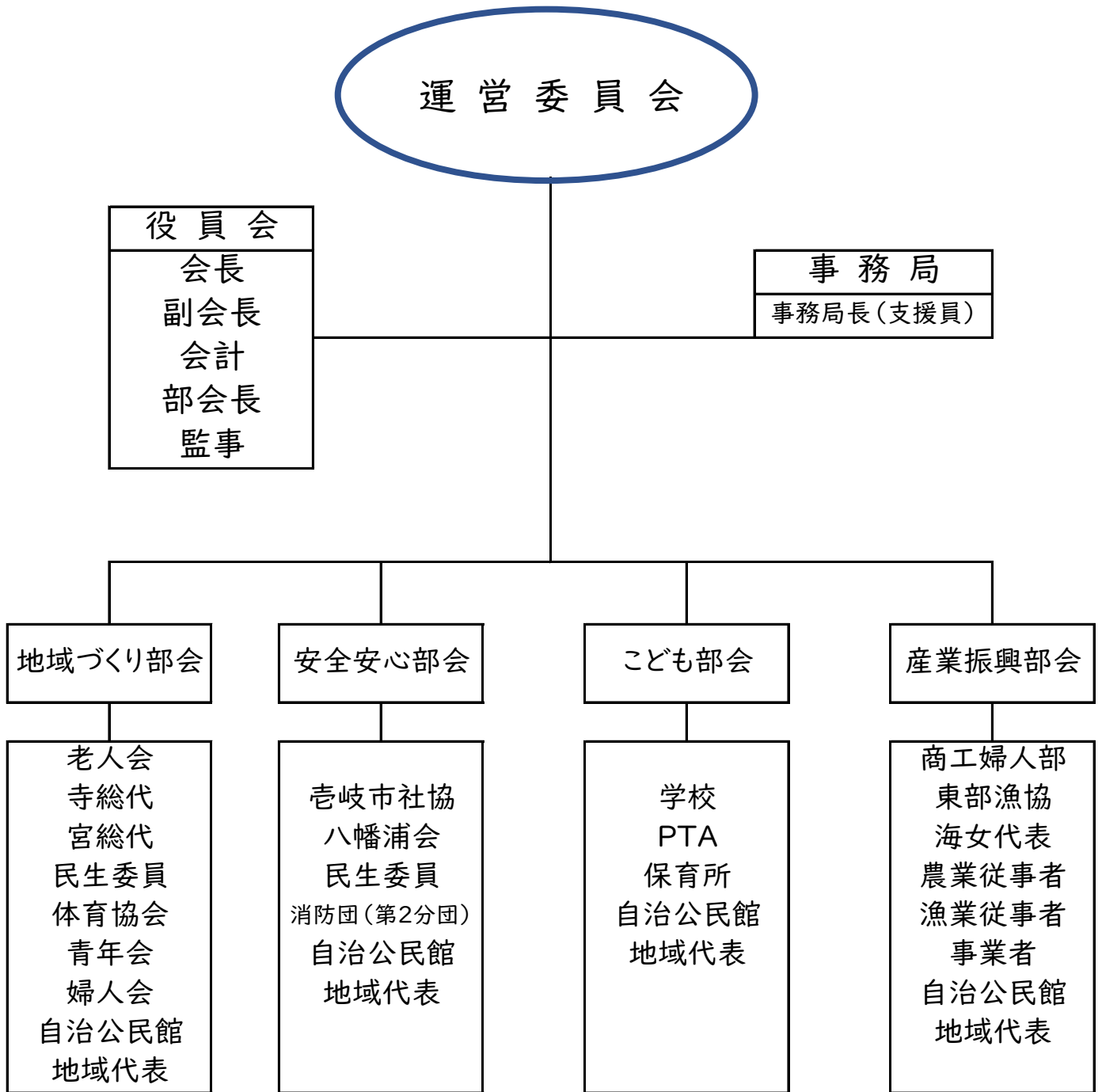
6. 八幡地区のビジョン

持続可能な八幡にするために

100年後の未来、今と変わらない八幡のまちを目指して
島内外問わず、八幡に住みたいと思ってもらえる魅力あるまちを目指します！！

7.八幡まちづくり協議会組織図

八幡まちづくり協議会



8.まちづくり事業計画

【地域】	八幡まちづくり年間スケジュールの作成
現状	地域の中での中堅家庭（30代から50代）は、代々継承している行事の日程がよくわからない。 公民館、近所の情報頼み。 地域の行事、神事、仏事、学校の行事日程等を把握できていない。
課題	いつ、どこで、何が行われているか把握する。 在部・浦部での行事は異なるが、お互いに協力できるようにしたい。 公民館に在籍していない世帯への周知が必要。 各自治団体（浦会・老人会・婦人会・公民館）宮・寺・学校に協力をお願いする。
事業計画	八幡地区の年間地域カレンダーを作成し、全世帯配布をする。

【地域】	コミュニティバスの予約制運行
現状	高齢の運転者も多く、家族内での心配はあるが車がないと不便な為、免許返納を考えられない。 昼間は若い年代が勤めにでて、運転を頼めない。 近所の人などについてで頼むこともあるが、言いにくい。 病院の送迎が頼めるところが少ない。
課題	郷ノ浦方面の通院や、買い物用に送迎車を考える。 コミュニティバスの検討についてバス会社に相談する。 ニーズの確認。アンケート（記名式）で一度確認してみる。
事業計画	交通手段支援事業（バス・タクシー乗合運行事業・カーシェア） 買い物支援事業（高齢の方を対象に買い物支援・移動販売等）

【地域】	カズラ曳を残そう!!!
現状	<p>毎年8月13～15日の3日間、浦部西新町から東町までカズラを編み上げた10m程の綱を、こどもから年配の方まで掛け声に合わせて引いて行く、仏事行事。</p> <p>青年団主体で行ってきたが、令和2年度には青年団1人のため、2年度から3年間は消防団が主体で行う予定。人手不足により存続が危ぶまれる伝統行事だが、なんとか存続したいと思う住民が多い。</p>
課題	<p>浜カズラの調達に時間がかかる（勝本・石田）までカズラ切りに行っている。</p> <p>カズラ本体の作成に人手も時間もかかる。</p>
事業計画	<p>カズラ曳を存続させるための取り組みの強化。（ポスター等の作成）</p> <p>人員の確保。新しい形式のカズラを作る。</p> <p>各公民館単位の協力の要請を浦会を通して行う。</p>

【地域】	空き家対策
現状	<p>空き家が目立つ。危険家屋レベルの空き家もある。</p> <p>小学生の通学路沿いに建つ、手入れされていない空き家が危ない。</p> <p>誰の所有かがわからないので、対処のしようがない。</p>
課題	<p>空き家の所有者の特定。</p> <p>危険家屋に関しての対処をまちで決める。</p>
事業計画	<p>安心安全部会と協力し、空き家MAPの作成をする。</p> <p>空き家の処置を所有者や行政に相談する。</p> <p>イエマチの空き家バンクへの登録の推奨。</p>

【地域】	ゴミ問題
現状	<p>各自治体で年1～2回は清掃活動をしている。</p> <p>景勝地として知られる八幡半島だが、ゴミのポイ捨てが多い。</p> <p>小学校も毎年クリーン作戦を実施しているが、人数が少ないため年々規模が減少傾向、一部のみになってきている。</p>
課題	<p>地域のみinnで意識する。</p> <p>小学校のクリーン作戦をまち全体でやってみよう。</p>
事業計画	<p>各自治体で行っている清掃活動を一本化！年に数回住民みんなで行う。</p> <p>八幡小学校と一緒に取り組むことによって、住民の意識が向上することを狙う。</p>

【地域】	地域レクリエーションの実施
現状	<p>①以前は公民館単位で花見や湯本温泉行きなどの地域行事が行われていたが、いつの間にか無くなった。</p> <p>昔あった地域行事の復活を望む高齢者の声が多い。</p> <p>②町民体育祭もバスで応援に行くなど、地域が一丸となっていたが、選手の家族、役員、車を持っている家族のみの参加となり、団結力が弱まってきている。</p>
課題	<p>各種レクリエーションに対し、ニーズがあるか不明。</p> <p>バスレクリエーションを開催するなら参加しますか？等アンケート取るのはどうか。</p>
事業計画	<p>地域住民が一堂に会し、コミュニケーションを図る住民参加型のレクリエーションを実施する。</p> <p>湯本温泉行きなど、参加費が発生する行事に関してはアンケートを取ったうえで、ニーズがあれば実施する。</p>

【安全】	防犯意識の向上を
現状	<p>防犯意識が低く、鍵をかけないで留守にする家が多い。</p> <p>不審者情報の地域間の共有ができていない。</p> <p>犬の放し飼いで困っている。</p> <p>小さな子に対する安全対策は十分か？</p> <p>八幡浦の海岸沿いは必要ないものを置いていないか、不要なものや個人のものも多々ある。</p>
課題	<p>不審者情報、犬の放し飼い、安全対策の共有と強化</p> <p>不審者情報については各自治団体に速やかに連絡、情報の共有を図る</p>
事業計画	<p>ポスター等を作成し、消防倉庫、生活館、ゴミステーション等、目のつくところに掲示する。</p> <p>八幡まち協用の回覧板を活用する。</p>

【安全】	地域内での雇用促進
現状	<p>減収、年金の支給額減、不漁により、高齢者の収入減が深刻。</p> <p>短期のアルバイト等の求人も少なく、交通手段がなく通勤できない高齢者もいる。</p>
課題	<p>年齢の制限により外で働けない人に、八幡校区でできる仕事を提供できないか。</p>
事業計画	<p>登録制による仕事の斡旋をする。</p> <p>(たとえば選挙の立会人・草切り作業等)</p>

【安全】	危険空き家屋・空き家対策
現状	<p>完全放置の空き家が多く実際危険レベルの家屋もある、しかも小学生の通学路沿いにある家屋も有り。</p> <p>空き家の処分について知識がないという声も多い。</p> <p>空き家等をまちづくり活動に活用出来たらいいと思うと住民アンケートに多数の意見があり、整備が急務</p>
課題	<p>空き家の状況の把握</p> <p>所有者との話し合い</p> <p>空き家バンクの周知徹底</p>
事業計画	<p>地域づくり部会と連携して空き家MAPを作成し、危険度合による色分けをする。</p> <p>所有者の合意のもと空き家バンクへの登録を勧める。</p> <p>危険な建物に関しては行政に相談し、対応する。</p>

【安全】	防災組織の見直し
現状	<p>緊急時の避難場所が近くにない（芦辺までは遠い）車が使えない状況の時はどうするのか。</p> <p>地震訓練・津波訓練等、ほとんど実施できていない。</p> <p>災害時の避難場所、避難経路を熟知している住民が少ない。</p> <p>高齢者や手助けが必要な要介護者の避難について何も対策ができていない。</p>
課題	<p>自主防災組織の役割の見直し。</p> <p>災害時の避難場所となる建物の建設</p> <p>高齢者の独居世帯の把握、声かけ、避難補助の方法を考える</p> <p>独居世帯の把握が急務。</p>
事業計画	<p>災害時の避難場所となる建物の建設に係る活動。</p> <p>避難訓練をまち全体で行う。独居世帯MAPの作成（地域づくり部会と連携）</p> <p>防災講話を行う。</p>

【安全】	路上駐車・迷惑駐車を減らそう
現状	<p>在部地区は家の敷地内に駐車スペースがあるが、浦部地区（特に仲町）は隣接する住宅が大半で駐車スペースがない。昔より車が増えたことと元々駐車スペースを確保する土地がなかったため、路上駐車が多い。</p> <p>警察からの指導により、ピーク時より路上駐車は減ったが、まだまだ場所が足りていない。</p>
課題	<p>海岸や空き地を利用したの駐車方法の見直し</p> <p>使われていない土地を探して所有者を特定する。</p>
事業計画	<p>空き家・空き地の所有者に交渉して、駐車場として貸せないかの交渉をする。</p>

【安全】	サロンの設置&健康作り
現状	<p>加齢による健康面の不安をかかえる高齢者が多い。</p> <p>高齢者も元気で暮らせる取組みを望む声が多い。</p> <p>現状は、気軽に集まれる場所もなく家から出ない高齢者も多くなってきている。</p>
課題	<p>出会いや会話、笑うことが健康にもいいと考え気軽に集まれる場所の提供と、サロンを開いて健康についての講話やアドバイスを聴くのもいい。</p> <p>健康についてだけでなく、日常生活の悩みや相談を聞くことも大事。</p>
事業計画	<p>高齢者をはじめとする八幡地区の全住民がいつでも気軽に利用できる場所を作る。</p> <p>利用可能な施設の選定、曜日、時間、内容を「まちだより」で周知していく。</p> <p>まずは夏休みの間、小学生と一緒にラジオ体操の実施。スタンプカードを配布する。</p>

【こども】	八幡地区児童館の建替要望・整備の充実を！
現状	<p>平日は保育所の子供たちのお散歩や憩いの場、休日は地域の子供たちの利用が多い八幡児童館は、昭和41年に設置され建設から50年以上経っている。</p> <p>平成17年の福岡西方沖地震により外観には亀裂が入り、雨漏り箇所、遊具の劣化など顕著に見られ、住民からも児童館の建替えや整備の充実を望む声が多数ある。学童施設を八幡地区にも置いて欲しいという意見も多数ある。</p> <p>八幡地区にはコミュニティー施設が無いため、交流の場として同じ場所に併設ができればなお良い。</p>
課題	<p>児童館の設備（備品）を充実させる。</p> <p>学童施設の設置</p> <p>八幡地区にはコミュニティー施設が無いため、交流の場として同じ場所に併設可能か検討する。</p>
事業計画	<p>まずは現状の児童館の設備を充実させる （救急セット・カーテン・遊具・書籍等）</p> <p>児童館の建替えと周辺整備・学童施設の設置に向けての活動</p>

【こども】	収穫体験活動
現状	<p>八幡小学校に畑を提供してくれている農家の方に、耕したり、草取りをしたりと負担をかけている。できたさつまいもで、校内持久走記録会の応援をして下さる方、約300名に芋かりんとうを配っている。前日から芋かりんとうの下準備をし、当日も、早朝からPTAの保健体育部を中心に約40名あまりが参加、午後からの記録会に間に合わせるために両日にまたがったの準備は負担も大きい。</p>
課題	<p>畑を貸してくれている農家の方に極力負担にならないように管理できないか。</p> <p>かりんとう作りにかかる先生と保護者の負担を軽減できないか。</p>
事業計画	<p>畑の募集・管理</p> <p>芋かりんとう作りの人員の募集（まち便り等で声をかける）</p>

【こども】	八幡小学校運動会に地区民運動会を同時開催！
現状	<p>毎年10月に開催されている八幡小学校の運動会は、年々児童数の減少により、保護者参加種目、係も多く子供の競技をゆっくり見れない。</p> <p>保育所より年中・年長組も参加し、年配の方も公民館括りの競技には、奮って参加してもらっているが、小学生の親世代の競技はたくさんあっても、就学前の児童や、中高生、高齢者向けの競技はなく、ほぼ応援。</p>
課題	<p>みんなで楽しく！小学校に子供や孫がいなくても参加できる健康イベントとして、小学校の運動会に地区民を抱き込んで開催できないか。</p> <p>参加者が増えれば、子供達ももっと楽しんでくれると思う。</p> <p>小さい子からお年寄りまで楽しめる珍プレー満載の運動会を開催する。</p>
事業計画	<p>八幡小学校への承認・協力をお願い</p> <p>小学校区内全公民館長に説明会を開催、承認後プログラム等の見直し、できれば2020年の開催を目指す。</p>

【こども】	通学路の安全対策の強化
現状	<p>浦部では、道路の道幅が狭いため登下校中の児童にとっては危険な箇所もある。</p> <p>在部では、交通量が少ないため、不審者対策やゴミ対策が必要。</p> <p>学校側も先生方が登下校の見守りに尽力してくれてはいるが、地域での見守りがまだまだ足りていない。</p>
課題	<p>道幅の狭い場所・ゴミの不法投棄場所には注意を促す看板の設置（現在作成中）を増やす。不審者情報の徹底周知と共有。</p> <p>地域単位の見守り、声かけのお願いをする。</p> <p>地域でのクリーン作戦を開催する。</p>
事業計画	<p>注意喚起の看板の設置増（小学生・地域で作成）</p> <p>行政と連携しての不審者情報の把握。</p> <p>声かけのお願いに回覧板や、公民館掲示板にポスター作成。</p> <p>通学路周辺の草刈り</p>

【産業】	第一次産業の振興事業
現状	八幡地域においては、農業・漁業が主要産業である。
課題	後継者不足・漁業不漁と魚価の低迷
事業計画	<p>観光資源の6次産業化を含めての第1次産業の振興事業を行う。</p> <p>①八幡の町でしか作れない（八幡の資源だけを使って）料理の開発（加工品等）</p> <p>②小学校の生徒たちと地域住民の方との体験学習の実施。</p>

【産業】	観光飲食事業
現状	観光バス等で観光客自体は八幡に入ってきているが景勝地に店などがいないため、左京鼻やはらほげ地蔵を観光しても、そのまま帰っているのがもったいない。
課題	<p>観光客が立ち寄れる場所が必要。</p> <p>八幡周回での観光を広める。</p>
事業計画	<p>①道の駅のような飲食・販売施設（空き家等の活用）の設置。八幡独自の料理（加工品等）提供や、はらほげ地蔵さんにかけている赤い前掛けを作って、願い事を書いてもらう（有料で）神社の絵馬のイメージ</p> <p>②左京鼻やはらほげ地蔵以外に新たな観光資源が必要（長者原等）。そうすることにより八幡周回コースでの観光ができる。但し、周回コースの道路整備が必要。</p>

9.おわりに

八幡まちづくり協議会は、令和元年7月に設立準備委員会を設立し、これまで各団体との連携をしながら準備をしてまいりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、思うように動けない時期もありましたが、関係各所の皆様の応援もあり、無事に協議会設立へこぎつけました。

協議会設立日は令和2年7月7日「七夕の日」です。これは、八幡まちづくり協議会に関わる地域住民全員の「願い」が叶うようにという思いが込められています。

いよいよ、各部会で話し合いを重ねて作成してきた事業計画を基に、始動します。5年後・10年後・・・もっと未来の八幡のまちの為に活発な活動を進めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

〒811-5312

壱岐市芦辺町諸吉南触 1565 番地（八幡小学校 給食室）

八幡まちづくり協議会 事務局長（集落支援員）・佐藤^{さとう}綾子^{りょうこ}

TEL： 090-6770-1407 FAX 0920-40-0434

MAIL： yahata020707@hm.iki-vision.jp

お気軽にお立ち寄り下さい（開所時間 平日 8：30～17：15）

八幡まちづくり協議会設立までのあゆみ

令和元年度

年月日			活 動 内 容	備考
1	6	14	八幡小学校体育館において説明会開催	参加者80名
1	6	27	幹事会・設立準備委員会の人選等についての協議	
1	7	22	第1回八幡地区まちづくり協議会幹事会開催	拠点施設・集落支援員について
1	9	4	第2回八幡まちづくり協議会幹事会開催	//
1	9	4	第1回八幡まちづくり協議会設立準備委員会開催	規約の承認 他
1	10	1	集落支援員就任	
1	10	2	集落支援員との協議	
1	10	28	第3回八幡まちづくり協議会幹事会開催	住民アンケートについて
1	11	7	第2回八幡まちづくり協議会設立準備委員会開催	//
1	11	11	アンケート配布	全世帯への配布
1	11	30	アンケート回収・集計作業開始	
2	1	15	幹部会開催(第3回八幡まちづくり協議会設立準備委員会事前準備)	
2	1	20	第3回八幡まちづくり協議会設立準備委員会開催	アンケート結果の説明
2	2	5	第1回こども部会・安心安全部会開催(八幡小学校・図書室)	課題と活動内容の話し合い
2	2	12	第1回地域づくり部会・産業振興部会開催(八幡浦生活館)	課題と活動内容の話し合い
2	2	21	第2回地域づくり部会(八幡浦生活館)	事業計画についての話し合い
2	3	11	幹部会開催(視察研修の報告・まち便りの発行について他)	
2	5	26	幹部会開催(令和二年度新役員について他)	

令和二年度

年月日			活 動 内 容	備考
2	6	10	第1回八幡まちづくり協議会幹事会開催	新役員の承認
2	6	10	第1回八幡まちづくり協議会設立準備委員会開催	まちづくり計画書について
2	6	16	幹部会開催(開所式について・まちづくり計画書について)	
2	6	17	産業振興部会開催(お宮 社務所)	
2	6	26	第2回八幡まちづくり協議会設立準備委員会開催	設立・開所式について
2	7	7	八幡まちづくり協議会設立	
2	7	11	八幡まちづくり協議会開所式	八幡小学校体育館

八幡まちづくり協議会規約

第1章 総則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、八幡まちづくり協議会（以下「協議会」という）と称し、事務局を壱岐市芦辺町八幡小学校内に置く。

所在地 壱岐市芦辺町諸吉南触1565番地

(目的)

第2条 協議会は、地域住民相互の連帯と健康福祉増進の強化に努め、各種団体と連携を図りながら、地域の課題解決に取り組む、市と協議会との協働により、暮らしやすいまちづくりを推進することを目的とする。

(活動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる活動を行う。

- (1) まちづくり計画書の策定及び事業の実施
- (2) 地域課題の把握や情報の発信
- (3) 地域課題解決に向けての協議及び事業の実施
- (4) その他まちづくりのために必要な活動

(構成)

第4条 協議会は、次に掲げる団体等で構成する。

- (1) 八幡地域内に居住している人

- (2) 八幡地域内で働く人や学ぶ人
- (3) 八幡地域内の事業者
- (4) 八幡地域内のコミュニティ組織
- (5) 八幡地域内の各種団体等
- (6) その他会長の認める者

第2章 役員

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く

- | | |
|--------------|-----|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 1名 |
| (3) 事務局長 | 1名 |
| (4) 会計 | 1名 |
| (5) 地域づくり部会長 | 1名 |
| (6) 安全安心部会長 | 1名 |
| (7) こども部会長 | 1名 |
| (8) 産業振興部会長 | 1名 |
| (9) 監事 | 2名 |
| (10) 顧問 | 若干名 |

(役員を選任)

第6条 役員(部会長を除く)は、運営委員会において選任する。

部会長は、部会において選任する。

(役員職務)

第7条 役員職務は、次の通りとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- (3) 事務局長は、協議会の事務を総括する。
- (4) 会計は、協議会の出納に関する一切の業務を処理する。
- (5) 部会長は、部会の活動を総括し、事業の調整にあたる。
- (6) 監事は、協議会の出納事務を監査する。
- (7) 顧問は、役員会の推薦により若干名選任することができ、協議会の重要な事案について会長の諮問に答申する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。

補欠または関係団体等の方針によって入れ替わり就任した役員任期は、それぞれの前任者の残任期間とする。

(役員手当)

第9条 協議会は、次のとおり役員手当を支給する。

- (1) 会長 50,000円/年
- (2) 副会長 20,000円/年
- (3) 会計 30,000円/年
- (4) 部会長 10,000円/年
- (5) 監事 3,000円/年

第3章 会議

(会議)

第10条 協議会に次の会議を置く。

- (1) 運営委員会
- (2) 役員会
- (3) 部会

(運営委員会)

第11条 運営委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 第5条に規定する役員
- (2) 第14条の部会に属する地域住民並びに各種団体等の代表者

第12条 開催日程・開催方法については次のとおりとする。

- (1) 運営委員会は、毎年1回定期に開催する。

- (2) 運営委員会は、会長が招集する。
- (3) 会長は、必要があると認めるとき、又は第1項の構成者の半数以上の委員から要求があったときは、臨時に運営委員会を開催することができる。
- (4) 運営委員会の議長は、出席者の中から選出する。
- (5) 運営委員会は、つぎの事項を議決する。
 - 【1】規約等の制定、改正及び廃止に関すること。
 - 【2】協議会役員承認に関すること。
 - 【3】事業計画及び事業報告に関すること。
 - 【4】予算及び決算に関すること。
 - 【5】その他、協議会が第2条に規定する「目的」を達成するための基本事項に関すること。
- (6) 運営委員会の協議は、合意に達するまで相互に努力を重ね、協議結果については互いに尊重する。但し、緊急を要するときは役員会に於いて専決し、事後報告承認を得ることができる。
- (7) 運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

(役員会)

第13条 役員会は、第5条に規定する役員をもって構成し、協議会の運営について協議する。

- (1) 役員会は、会長が招集する。

- (2) 役員会の議長は、会長があたる。
- (3) 会長は、必要があると認めるときは、役員会構成員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

(部会)

第 14 条 部会として次の部署を置き、各所管に関わる事項を協議及び実践する。

- (1) 地域づくり部会
- (2) 安全安心部会
- (3) こども部会
- (4) 産業振興部会

第 15 条 部会は、地域住民、各種団体等をもって構成する。

部会名	構成員（団体等）
地域づくり部会	地域住民・老人会・青年会・婦人会
安全安心部会	地域住民・浦会・自治公民館・消防団
こども部会	地域住民・学校・PTA・母親代表
産業振興部会	地域住民・海女組合・漁協・商工会・有志

- 【1】 部会に部会長を置き、部会に属する部会構成員の互選により選出する。
- 【2】 部会長は、部会を代表し会務を総括する。
- 【3】 部会長は、部会の検討経過及び結果について、役員会に報告するものとする。
- 【4】 部会長は、必要があると認められるときは、部会構成員以外の者を出席させ、意見

を求めることができる。

(会議の運営)

第16条 運営委員会及び役員会は、各会議の構成員の2分の1以上の出席により成立する。ただし、部会は部会の判断に委ねる。

第4章 会計

(経費)

第17条 協議会の経費は、市からの交付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第18条 協議会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了するものとする。

第5章 雑則

(その他)

第19条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、運営委員会に諮って、会長が定める。

附 則

この規約は令和2年7月7日から施行する。